

県民に安全な住環境を

佐賀県建築士会会長 犬塚 敏治



新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には日頃より事業運営、推進に対し格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

新しい年号に生まれ変わる節目の年を迎えるにあたりご挨拶を申し上げます。未来に向かって羽ばたくスタートの年、オリンピック&パラリンピックや佐賀県国民体育大会の開催に向けて飛躍する年であり、活気に満ち溢れた年になることと思っております。

今年も県民の皆様幸せを生み出すため、また会員の資質向上を図るために鋭意努力してまいります。

近年、女性建築士や青壮年建築士が、自分の業務が忙しい中、まちづくりや地域の活動に積極的に参加し、安全安心な建築物を創出するだけでなく、まちづくりや地域の活性化の一助となればと各地域に溶け込んだ活動を推進しています。

幼稚園児や母親と一緒に「もを造り出す喜び」を体感してもらう活動や折り紙教室の開催、地域の清掃活動、また、住宅の耐震診断や耐震補強工事の推進などの佐賀県や市町の建築行政のお手伝いにも取り組んでいます。

災害時にはボランティア活動への参加、九州各県の市町村の被災建物の応急危険度判定等の住民の安全を確保する為の支援業務等幅広く活躍しています。

今年正月には佐賀県との間で「被災建築物応急危険度判定等に関する協定」が締結されます。熊本地震時に九州各県と連携した建築士の支援活動の経験を生かした協定を締結し佐賀県で震災が発生した時に迅速に対応できるように協定が結ばれます。

新しい年を迎えて

佐賀県建築士事務所協会会長 平野 直人



平成31年の新年を迎え、謹んで新年のお慶び申し上げます。日頃より、当協会の事業運営に

対して、格別のご協力、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。去年は記録的猛暑に加え、甚大な被害をもたらした西日本豪雨や台風多発、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震と災害が続きました。このような自然災害に対し、我々建築に携わる者がどう対処していかなければならぬか、真剣に取り組んでいかなければなりません。

それに伴い本年度は、緊急危険度判定における県との協定締結（建築3団体）や、ブロック塀等の第2段階の安全点検の調査など、地域貢献活動をしっかりと協会会員と共にやっていきたいと考えます。

また、免震ゴムや免震タンパー不正など、建物に多大な影響を及ぼす問題が出ています。メーカーの問題ではありますが、建築士も今一度自らを律し、品位を保持し、建築士としての誠実な業務の遂行のなから信頼を得なければならぬと考えます。

最後に申し上げますが、関係各位のご指導をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

協会の身近な問題として、建築士の高齢化や後継者問題などますます深刻になってきています。

協会の身近な問題として、建築士の高齢化や後継者問題などますます深刻になってきています。

協会の身近な問題として、建築士の高齢化や後継者問題などますます深刻になってきています。

